

刊夕日六十二月九



定価 一部全電報... 日曜日の日休... 常磐毎日新聞社

死なぬ話

真繼雲山

【二】

同じ佛教でも、十人十色で、人によりて深淺の差あり、時代に盛衰の異あり、土地に繁閑の別があるが、しかし人間が生れて死ぬるものである以上佛法から絶縁し得るものは一人一疋もない。生死と書いて『まよひ』と訓み佛法とはその迷ひから悟りへの道を示した天地本然の道だからであるこの故にエチオピアにもスペインにも佛法はある。それを佛法と名づけざると否とは、おのづから第二義的な形式の問題である。それほど遠方の話でないにしても同じ日本の領土内でも佛法の繁昌してゐる地方と、それほどでない土地とがある。宗旨によりて盛衰の度合も違ふこと言ふまでもないが、概して真宗の盛んな處は、全体として佛教が盛んであり、禪寺の多い地方は餘り振はず、法佛は葬式の道具たる観がある。

餌が固くては魚の齒が立たぬやうに、多忙な現代に取つて禪は餘りに高遠に過ぐるのであらう。況んや文

部大臣が漢字廢止の音頭取りとなる如き時代となつては、ます／＼以て禪には喰ひ付きにくいことにならう。概觀的に見て北陸四縣、三重、廣島、地方一帯は佛法が盛んである。それは従つて真宗が繁昌してゐるといふことを意味する。私の生國丹波は、餘り佛法の名産地とは言へず、先

三井タクシク
番五八六電・二平

ところか歸りがけに何といふかと聞くに、或日おかみさんが『今日の話は九つきり譯が分らなかつたがたゞ何となしに死ぬのが餘りいやでなくなつたやうな氣がした』と言ひつゝ歸つたさうな、これが二時間の汗だくの收獲であつた。善いかなこの言。徳本行者は『往生とは往き生れると書く、ゆめ／＼死ぬるのではないぞへ』と説法された由。佛法とは死なぬ話ではなく、死ぬるのいやにされるのいやなのでなく、手を斬らるのいやなのでなく、苦しみがいやなので、左様に感ずる苦しみが無くなれば、斬られないのと同じ話になるので、結局、死ぬ話と同じ話になるのだからである。

皮膚科 泌尿器科 性病科 専門
開院
江尻醫院
醫學博士 江尻伊三郎
電六九一番

品自慢と 正直な値段
自轉車・リヤカー
フタバ商會
新川町郵便局前

大和田醫院
耳鼻科 専門
咽喉科
平町 南町 一六(電話一七〇番)

美味... 新鮮...
東京堂のパン
是非御試食を!
平播植小路
電一〇八番
徒弟入用

かまぼこ 製造
お惣菜用 さつま揚 吉原揚
平町一丁目
電話一四一番

和洋 家具
製作販賣 諸官衙 御用達
片寄製作店
平町五丁目四
電話四八四番

高級パン 食パン色々 洋生菓子 チヤムバター ビスケッツ カステラ
東京堂のパン
徒弟入用

青沼町長再選か

満場一致の空気が濃厚

平町にては町長青沼隆太郎氏が来月十五日を以て任期満了となる爲め廿九日選挙町会を開くが市制を目標の間に控えて同氏の手腕力量を待つ處が多い爲め各議員間に再選説最も有力にて結局満場一致を以て圓滿當選を見るに至ると豫想さる

愈よ明日の

中等 野球戦

各選手意氣衝天

小檜山警中校長の始球式

地方野球フアンの白熱的期待望裡に愈々明廿七日に迫つた本社主催第三回中等學校教員野球大會は各チーム共夫々策を秘めて黙々のうちに輝やかしき榮冠を虎視眈々と狙ひ彌が上にも緊張の熱度を加へてゐるが勝敗の豫斷全く許さず技倆、意氣共に盛んなものあり當り白熱戦を期待されてゐる尙當

オリンピックの旅

往來途上の印象記

松野尾 繁雄

晝の遊覧バスにのつた日一休みしてから夜の遊覧バスにのつた。八時半頃出發して宿に戻つたのが午前の三時、外國の連中は夜の十二時一時を夜中と思はないのかも知れない。廻つたところは伯林の代表的キヤ

一勝一敗雨天の際は翌廿八日午後三時より同球場に於いてトーナメントに依つて勝敗を決する筈
射撃會に出場 既報
明二十七日午前八時から浪

新任の櫻井檢事

けふから事件を處理

去る二十三日着任早々關係方面の挨拶廻りや福島地方裁判所の出張等で多忙を極めてゐた平區上席檢事櫻井久次氏は今二十六日登廳初めて事件書類に手を初めた

平穩裡に合併論

豫想した波瀾もなく

平窪村と字中平窪部落懇談會は昨廿五日午後から前日の下平窪部落に次いで開かれ平町との合併問題に關し部落民外村内關係當局者四十餘名參集平町側の出席を拒否して開催したが、同部落は反對論の強硬な分子あるため波瀾を豫想されたのに反して開會と同時に幾分の反對論は有つたが漸次

四倉商市況

四倉市場昨二十五日の取引は出廻り五百貫最高四圓九十八錢、最低四圓四十錢、平均四圓六十六錢で前日より十九錢の高値である

江町射撃場で開催される縣下中等學校第一回射撃大會は通過に依つて出場する中平商兩校選手は明朝平發六時で各係官に引卒され出場する

明二十七日母校職員及び本部役員を招き同町温泉神社で樹立式を擧げ終つて山形屋に祝賀會を催すと
入山校の運動會
湯本町入山小學校では十月四日秋季運動會を開く
入山對抗庭球 入山炭礦各區(臺ノ山、八仙、東、青葉、通勤)對抗庭球戦は昨二十五日午前八時から同礦向田グラウンドコートで催された

平町人事
回出生
△五町目二六當時相馬郡原町南新田字町七六春日重八氏三女孝子さん

回婚姻
△五町目二六當時相馬郡原町南新田字町七六春日重八氏(三五)同郡原町南新田字大橋本四佐藤キツさん(二八)

秋...味覺の秋

海老料理初めました
何卒御試食下さい
るび天 井 三十五錢
同 フライ 三十錢
同 天ぷら 三十錢
此外御注文に應じ色々調理致します

魚清食堂

平二番客室通り、電話六三三

呼吸患救濟の王
陸海軍御用
帝國大學醫學部御用
官公立醫學專門學校御用
吸入用酸素
體溫計(メイトル)

御用命次第迅速に御届け致します

平町古鍛冶町一〇縣社ノ下

處方箋調劑所 阿康藥局

電話 四四番
振替口座東京三〇六五番

吉田眼科醫院

平紺屋町 電話 六八番
醫學士 吉田久雄

無軌道親爺の見本

娘を苦界に賣り飛して

呑み代を絞る

平町四丁目五九料理店鷹の家こと大越タカヨ方酌婦茨城縣猿島郡古河町生れ大出君江(九)は昨廿五日夜平署へ救ひを求めて駆けこんだが取調べて見ると、同夜同人質父當時勿來町大日本炭礦居住無職大出吉兵衛(五)が泥酔して「金を貸せ、貸ねさば金になる女郎に賣るんだ」と鷹の家方に暴れ込み始末に負ひぬので願ひ出たもので

吉兵衛は去る二月前借二百圓で君江を鷹の家に賣り飛ばした揚句、四月にも金を貸せと暴れ込み娘を賣つて得た金は全部呑んで了ひ、愛憎をつかした長男とも別居して居る無軌道振りで

平署では同女が飽くまで「これ以上父の喰ひものになるのは嫌です」と哀願してゐるので暴れる吉兵衛を一晚留置懇々説諭した

仲間への助太刀に

背後から斬り付く

重傷を負はせて逃走中を 平署の手配で逮捕

平町材木町生れ當時小名濱町古港小野寅次郎方漁夫留吉二男伊藤留太郎(五)は去る四日同町下の料理店街で同僚の渡邊某と素見中渡邊が同町伊藤某と喧嘩になつたのに割つて入り、伊藤の背後から網切用小刀を揮つて斬りつけ全治一ヶ月の重傷を負はせて逃走、平署で手配中宮城縣岩沼署員の手で逮捕された

警中野外演習

警中一年生約二百五十名は今二十六日比佐、遠藤兩教官指

盛澤山な

興味の番組

平第三小學校の第七回陸上運動會は愈々明二十七日午前七時四十分開始されるが百條に亘る種目中「防毒救護班」「兵隊さん飛行機」「毒ガス襲來」「空襲下の衛生部隊」等非常時下にふさはしい番組が多分に盛り込まれてゐる

優勝旗争奪

警女の競技

警女の優勝旗争奪陸上競技會は今二十六日午後一時から同校グラウンドに開催されたが種目は三段跳、走高跳二百米、四百米リレー等で

兄弟愛の嘆願に

判事も同情ある判決

既報實兄の戒刑嘆願等兄弟愛の劇的場面を展開した平町大町警署無盡會社矢吹支店長水野義雄(四)に係る業務上横領事件の判決言渡公判は昨二十六日午後二時半から平區で野木判事から求刑通り懲役八ヶ月、但し四

便所に潜伏して

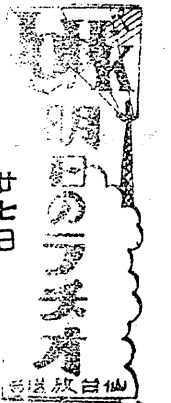
白河小僧捕る

内郷村字堀坂居住白河町生れ高木保男(一)假名は去る三月以來同村警署炭礦倉庫に忍び入り銅線、鐵材等を盗み出し昨二十五日夜十時頃またも忍び込まんとしたのを密行中の同村春川駐在所員に誰何されるや矢庭に逃走、同礦共同便所内に潜伏中を逮捕されたが同人は

河北機が

平町に飛來

簡易保記念の訪問飛行既報の如く來月二日行はれる仙臺通信局管内の簡易保



明日の朝

今晩は北東の風 曇後雨明日は北東の風曇後夕立模様

今晩の部

後六、〇〇 歌のお稽古 子供のテキスト九月號特選童謡 平井美奈子
後六、二五 講演「國防と兵器學」有坂鉦藏
後七、三〇 謡曲「松虫」觀世鐵之丞他
後八、一〇 箏曲 高橋榮

清他

後八、二五 映畫劇「祇園の姉妹」山田五十鈴他第一映畫連
後九、〇〇 時事解説「増税案の意味と説明」阿部賢一
後九、三〇 時報 ニューズ 明日の話題 氣象通報 番組豫告

明日の朝

前九、三〇 子供の時間 うたのおけいこ「子供のテキスト九月號特選童謡」平井美奈子
前一〇、〇〇 日曜勤行 東京芝居松寺中繼
前一〇、四〇 講演「交通事故の心理學的考察」淡路園治郎
前一、一〇 趣味講演「慶念坊の事蹟」御橋義海
前一、五〇 六大學野球 法明、立慶戦 神宮球場中繼
後〇、五〇 満洲より

老人を

刎ね飛ばす

湯本町字天王崎一四一自動車業鈴木稻實方運轉手村上諒壽(三)は昨廿五日午前八時半頃同町三函地内道路を乗合を運轉して疾走中通行中の好間村大字愛谷字花輪中野田吉左衛門(六)を刎ね飛ばして右足に全治一週間の傷を負はせた

酌婦殿りの

恐喝男に

既報去月二十八日夜十二時頃内郷村大字宮字蛭子三七料理店福島亭車横り筆三郎方酌婦鈴木ハツ子に難癖を付け袋叩きにした揚句横山方に暴れ込んで亂暴狼藉を働き金を強要し内郷村字宮字蛭子前科二犯樂手菅野幸一(三)同金坂前科一犯蓄

現金窃盗捕る

好間村大字北好間坂津飯場止宿

古河炭礦難夫伊達郡川俣町字字橋本生れ菅野正美(九)假名は去る十四日同商の小林元治郎所有の現金五圓二十錢を窃取した外他に四件の現金窃盗を働へたこと發覺平署に檢舉された

裁判一束

△双葉郡上岡村大字本岡字夜ノ森大和田至方自動車運轉手佐藤勝美(三)は去る七月二十一日同郡川内村地内で遊戯中の若松智子(四)に衝突全治二週間の要する傷害を與へ警署に報告せず罰金二十圓

本日家の庭薬必備

ルメット

皮膚外傷化粧に

町田町平 阿部薬部

- △探炭夫 一六一三十五才迄 日給一圓位
- △倉働 四十才迄 給料月八圓
- △船夫 四十才迄 給料十乃至十五圓
- △賣子 三十才迄 給料歩合
- △漁夫 二十才一四十才迄 給料歩合
- ◇ 職を求める方
- △助手 十九才 高卒
- △トラック助手 二十三才 尋卒

シア歌謡曲 サヤピン他
後一、二〇 ビアノと管絃樂 プリンクスハイムのピアノ協奏曲「短調」
後六、〇〇 お話「秋鳴く蟲」大明文衛
後七、三〇 日曜特輯ニユース演藝 BK文藝課案 松井登聲他
後七、五五 所作音楽「紅葉狩」(三方掛合)常盤津駒代他
後八、四〇 歌謡曲 伊藤久男 音丸
後九、〇〇 ラヂオ小説「三四郎」夏御橋公他



結ぶ瓦解の謎

(無上秘伝) 悟道軒圓玉(作) 尾至陽(書)

二三一 お花館へ

お花は涙を拭ひ

花「云ひかはした男の爲めに現在の兄さんを殺したわたくし、さぞ親分は鬼のやうな女と思うでございませうが、これには云ふに云はれぬわけもございませう」

次「それにしても兄貴を殺したとは思ひ切つたことをしたな、これは出来ぬことだ、それで、お前が助けたその三島三郎は何うしたな……」

花「御老中の安藤様の御登城がけを坂下御門に待うけてそのお供方へ斬り込みました、その時にこの坂下門で斬死をいたしました」

次「あの坂下門の一件にもその三島三郎と云ふ人が入つてゐたかえ、何んで安藤様を殺さうとした」

花「御主人の堀織部正様が切腹したは安藤様とヒュースケン故でございます」

する程の威光もねえ、これからはお前の心のまゝにするが宜い」



長「さうか、それならば早くこゝを立ちのくがよい、イヤあとのことは心配するな」

のものとへ使ひが来て、取調べるに何かある故お花をつれて即刻出頭せよとの沙汰長五郎は子分を一人つれて出て來ました、伏谷は長五郎を訊問所に通じて

如「お花を取逃がしたか」長「イヤ逃したわけではございませぬ、むかふがどござへとびましたよ」



つた以上は取逃がすことはいないと云うたではないか」

と云つたが、この大膽には伏谷も氣を吞まれてしばらく無言――

花柳病科 外科 院醫科外村木

番九〇三話電 際橋目丁六町平

市原醫院 平町・四町 電話一四番

通學用冬服賣出し

御持兼ねの通學服が全部取揃ひま いづれも、型・生地・裁縫共に入念なる製品です

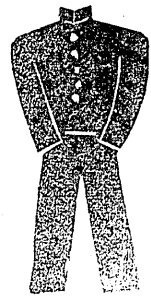
国防色冬服

6 號 4.10 各寸20錢上V

黒小倉服

6 號 3.50 各寸20錢上V

ふかや洋服店



諸機械製作販賣

會社 田邊製作所

平白銀町(驛前通) 電話二九四番

機械切各種齒車製作

鐵道省指定記念 小名濱……湯本間乗合自動車 無料乗車券サービス

乗車券は小名濱馬目自動車店、西野屋自動車店、湯本驛前丸本、矢内自動車店に御座ります。三人様以上はハイヤーをサービス致します。何卒御利宜下さい。

小瀧へ!!

- ◆宿泊料 1.50 2.00 2.50 (御滞在は左記料金にて中食料をふくませます)
- ◆日歸浴席料 .20
- ◆自炊料 .50-.80 (入場料・室料 夜具料一切)
- ◆料理一定食 .80 1.00 1.50 (その他一品料理洋食)
- ◆湯 効 神経痛、リウマチ、胃痛、腸病、痔疾、婦人病、逆上、中風、肥胖病 (内務省東京衛生試験所検定済)
- ◆諸設 備 撞球臺、高級ラヂオ、大廣間、讀書室、近代式浴場と洗面所、水洗式便所、小動物園、タクシー、御子様運動器具
- ◆名物 川魚料理(うなぎ、鯉)蜂蜜羊かん

●女中數名入用●

常磐線湯本驛 小瀧鑛泉 御旅館 瀧の湯 電話 (小名濱) 103番